

平成23年度
自己評価結果公表シート

学校法人浄暁学園 小樽高田幼稚園

建学の精神 「尊いみ教を信じて 仏の子を育てよう」

1、本園の教育目標

- ①いのちの尊さを知る（生命尊重）～人はもちろん、花や虫の素晴らしい生命にめざめ、ものを大切にする心を養う
- ②最後までやり遂げる（精進努力）～すこやかな身体と心で、落ち着いて物事をやり遂げる子を育てる
- ③感謝する心を育む（報恩感謝）～自然の恵みや、まわりの人々に「ありがとう」と言える子を育てる

2、今年度の重点目標

- ①それは、子ども達のためになっているか
 - A、子ども達の安全が第一に確保されているか？
 - B、保育活動のねらいが明確か？
 - C、子どもの発達に見通しを持っているか？
 - ②それは、保護者のためになっているか
 - A、保護者に保育の意図を伝えているか？
 - B、適切な環境が整えられているか？
 - C、保護者の気持ちに寄り添っているか？
 - ③それは、地域社会のためになっているか
 - A、印象の良い口コミが広がっているか
 - B、挨拶、態度、的確さを実践しているか？
- 教職員全員が上記を意識して業務を遂行する

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育の計画性	専門知識や技能の習得、仕事の手順と能率、教育に関する情報取得等に努めている。
保育の在り方・幼児への対応	幼児の観察、同じ目線に立ち、幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようと努め、常に保育者同士で話し合い、クラス・学年を越えて情報を共有するよう努めている。
教師としての資質や能力良識・適正	幼稚園教諭としての専門知識や技能、仕事の手順や能率、内外の保育研修等に参加し、幼児の特性や教育に関する情報取得に努めている。
保護者への対応	保護者と直接話すほか、定期的クラスだよりや連絡帳などを使って幼児の様子を伝えている。
地域の自然や社会とのかかわり	地域のある介護施設への慰問、保育状況を見学希望者への実施対応、保護者会、保育参観を実施している。ホームページにより保育状況を発信している。また卒園児の情報を得るよう努めている。
研修と研究	研修会や研究会には自己課題を持って参加している。園内の環境に留意し、関連性を持って保育の計画・実践に生かす努力をしている。遊具や教材についての特性や基本的な使い方を確認している。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

多くの保護者から、子どもの育ちや園の保育活動に対する信頼度において、一定の評価をいただいた。これには教職員間の共通理解の基で、園として一定の保育が確立してきたことに帰依すると考えられる。また様々な専門的知識を提供することにより、共に育つという認識が、保護者、教職員共に育まれてきていると評価する。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	使用遊具、施設の管理・点検を徹底する。
財務管理	引き続き、明瞭な財務経営とともに、安定した保育の提供に努める。
遊具の充実	実状にあわせて、子どもの遊具の整備拡充を行い、保育活動の充実を図る。
教職員の資質向上	各種研修会への積極的な参加を促し、研鑽を深める。